

会 議 録

会 議 の 名 称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 研修部会	
開 催 日 時	令和6年6月13日（木） 開会：18時30分 閉会：19時15分	
開 催 場 所	産業文化会館 第2会議室	
出席者（委員） 氏 名	溝上俊亮、澤田千尋、豊島拓海、出雲秀章、平野輝利人、 加藤里美、川島 治	
欠席者（委員） 氏 名	小林永治、堀内 規、江黒 徹、河野真也、前田千穂、 島田由紀子	
事 務 局	行田市高齢者福祉課地域包括ケア担当 機能強化型地域包括支援センター緑風苑	
会 議 内 容	令和6年7月13日 「パーキンソン病を知る！多職種で支える！ACP研修会」について ① ファシリテーションについて ② その他	
会 議 資 料	（資料名・概要等） ふらっと会議議題 パーキンソン病を知る！多職種で支える！（研修チラシ）	
そ の 他 必 要 事 項		
会 議 録 の 確 定	確 定 年 月 日	主 宰 者 記 名
	2024年 8月 8日	澤田 千尋 溝上 俊亮

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
各委員	【開会】18：30 ①ファシリテーションについて ※ふらっと部会の会員で行う予定 ・ファシリテーションの内容について 1：目標、目的（研修において最終的に到達したい目標） ファシリテーターは、ふらっと（研修）部会メンバーとし、1グループ6人程度で構成する。 目標、目的として、「最終的には多職種連携の大切さ」が伝わるようにしていく。 その他の研修の目標は、 ・持続的に生活できるように支援できる。 ・それぞれの分野で意見を出し合ってプランニングできる ・ケアマネジャーの立場を明確にするためのサービス担当者会議疑似体験ができる。 ・人生ファイルを使いながらの多職種連携を行う ・自分達の職は何ができるかを出し合いながら、人生ファイルを活用して、対象者の在宅生活を支えていくこと 1つのグループにケアマネジャーは一人いるようにするとよい。 インフォーマル・サービスについても紹介があるとよい。 介護保険外サービスとして、がん患者のカフェを実施している看護師に声がけをしている。 その他、インフォーマル・フォーマルサービスについては、市が一覧を用意しておく。 人生ファイルのシート（ある程度記入済みのもの）のコピーを用意し、読み取りながらの模擬サービス担当者会議が実施できるとよい。人生ファイルのシートのコピーは2部ずつ、対象者の心身機能レベルが軽度の段階、中度の段階のものを用意する。 研修の最後は、参加者に研修の感想インタビューを行いまとめるのはどうか。

②その他

6月13日時点で、研修参加申込者は10名。2回目の周知を行うこととする。

6月18日の行田ケアマネ連絡会に、機能強化型地域包括支援センターが出向き、直接、研修の周知を行う。

研修のリマインドメールを、市が市内高齢者福祉施設に行う。
医療機関への周知は、在宅医療・介護連携支援センターが行う。

○ファシリテーターの打合せ

令和6年7月4日 18時～ 産業文化会館第2会議室

○次回のふらっと（研修）部会

令和6年8月8日（木）開催

研修の事後アンケート結果の共有

【閉会】 19:15